



第20回九州クラブユース（U-13）サッカー大会
大会報告

日頃より活動にご協力いただきありがとうございます。

昨年度、1月に開催されました全日本 U-15 フットサル選手権大会、また3月に開催されました U13 クラブユース九州大会に出場することができクラブ歴史を変える年となりました。

両大会への出場にあたり、クラブ保護者の皆様をはじめ、関係者の皆様より多大なるご支援とご寄付を賜り、沢山の方々に応援されていることをクラブスタッフ一同感じており、心より御礼申し上げます。

皆様の温かいご支援のおかげで、選手たちは安心して大会に臨むことができ、日頃の成果を発揮する貴重な機会を得ることができました。結果として勝利を収めることはできませんでしたが、全国・九州の舞台での経験は、選手たちにとって大きな悔しさとともに、次へ向かう強い意欲を育むものとなりました。

また、今大会では沖縄という遠方でもあり、中学1年生にとって大会だけではなく、沖縄の地で沢山の経験をいただきました。

この経験を糧に、さらなる成長を遂げ、皆様に良いご報告ができるよう、選手・スタッフ一同一層精進してまいります。

NPO 法人 久留米アザレアスポーツクラブ

代表 南 孝輔



2025年度 U13監督

原 直紀 *Naoki Hara*

選手個々がどんな特徴をもっているのか。どこのポジションが適正なのか。

そしてどういう組合せをすれば強いチームになるのか。

そんな事より、とにかく個々がどんな内面を持ち合わせているのかを把握する事に精一杯だった一年前。いざ活動がスタートすると、驚く程に選手同士打ち解けるのが早く、和気藹々と取り組む姿がとにかく印象的でした。決して飛び抜けた選手がいる訳でもなく、全員で少しずつ前進しこの九州大会という舞台へ辿り着きましたが、当然平坦な道のりばかりではなく、チームとしても・選手個々としても本当に多くの困難がありました。そんな中でも一つの結果を生み出す事が出来たのは、間違いなく彼等の素直さがあったこそだと感じています。時に分かり易く勢いに乗り・時に分かり易く浮かれてしまう。そんな事を繰り返した一年でもありましたが、大事な場面で一丸となり真面目に直向に戦うチカラは、本当に素晴らしいものがありました。

九州大会こそ初戦敗退となってしまいましたが、ひとつの目標をもって日常を過ごせた事・この時期に公式戦の場で真剣勝負を体感出来た事・そして今まで経験した事の無いような悔しさを肌で感じた事は、今後への貴重な財産となるはずです。長いようで短い、このチームメイトとの残された時間。自らの置かれた位置に不満がある選手・上手い出来ない事を人のせいにしてしまいそうな時期・そして進路選択。

最終的には何事も自分の行動と決断で自らの人生を彩っていくしかありません。ただ、そこにはチームメイト・保護者・多くのコーチングスタッフが常に傍にいるという事を、決して忘れないでいて欲しいと思います。人こそ宝です。

最後になりましたが、クラブファミリーをはじめ本当に多くの方々に寄付金という形でご支援を頂きました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

本当にありがとうございました。

引き続き選手達の今後の成長を見守って頂ければ幸いです。

その為に、私達スタッフも全力で選手達と向き合い続けたいと思います。



～より魅力ある集団に～

第20回九州クラブユースサッカー大会寄付者一覧（順不同・敬称略）

* 個人名・クラブ会員名の公表は承諾いただいた方のみとなります。

鯉龍軒	大久保直純	田代 應介
佐藤住設	塚本 真優	仲村 斗馬
株) bloom	金 煥怡	福山 遙仁
株式会社田中不動産	坂本 進太郎	初田 和希
とまと運送(株)	木稲 喜一	秋吉 青空
株式会社メディツール	蔵重 理久	原 亜蓮
建武工業株式会社	矢野 蒼	古賀 太智
平岡税理士事務所	丸山泰司・晏司	宮崎 勇佑
株式会社住まいるハウジング	久富 蒼	小園 弘平
株式会社近藤建設	岡野 航暉	江嶋 真実
大栄ラーメン	森 陽侶	野田憲一郎
株式会社日展コーポレーション	牛嶋 悠人	龍 宏敬
ハイボール BAR ちょメ	吉ヶ江 龍	市川 剛
一般社団法人 Tamenas	中尾 奏太	古賀 璃人
株式会社 AIPLAN	芳野 兼誠	大音 瑠偉
株式会社ハイテック	栗原 叶太	野田 瑛介
緒方産業有限会社		
フレッシュ運転代行		
友野建設 株式会社		
株式会社 九州産直センター		
有限会社 KTA サポート		

* その他会員・クラブ関係者総勢 140 名の方より寄付をいただきました。
クラブ会員の皆様・各関係者の皆様ありがとうございました。

3/7 (土) 11:30 kick off

アリーバFC



1

1 前半
0 後半

0



久留米アザレア



21 FP アククエ アレックス大輔
Arekkusu Daisuke Akukue

僕は九州大会に向けて日々の練習からパスの質を上げたり、
間際で激しくあたったりすることを頑張りました。ただ練習
試合の時に負傷交代することになり、とても悔しかったです。
九州大会本番、僕は怪我人として沖縄に行ったけれど気持ちは
試合に出るという気持ちを持っていました。みんながアップ
をしていた時、僕は蒼馬と一緒にブランクをしながら少し緊張
していました。試合中は声を出すこととハイタッチくらいしか
できなかったけれど、声でみんなに自分の気持ちを込めること
を頑張りました。外から見ていて、みんなの目の色が金曜日と
は明らかに違っていたし、アップの雰囲気からも緊張感が伝わ
りました。ハーフタイムにはみんなからアリーバと互角にやれ
ている思いや絶対に勝てるという自信が伝わってきました。
試合が終わってから試合に負けた悔しさと試合に出られなかつ
た悔しさが込み上げてきて、とても悔しくなりました。親に挨拶
をしに行った時も紡樹のお母さんが紡樹に「顔をあげて！」
と言った瞬間に心が熱くなって、とっても悔しくなりました。
この大会を通して僕はたった一つのアクシデントからの失点だ
けで負けてしまう緊張感を改めて感じました。
応援していただいた方たちには僕たちのことを知らないのに寄
付してくださった人たちがいると聞いてとてもありがたいと思
いました。そして、わざわざ沖縄まで試合を観に来てくれた保
護者の人たちや自分が怪我をしているのに来てくれた家族には
とても感謝しているし、これからもサッカーでこの気持ちを伝
えたいと思いました。



九州大会を振り返ってみて、サッカーは点を多くとったほうの勝ちですが、ミスをどれだけ減らせるか、これも勝利への一歩ということが分かりました。あの失点シーンの前のクリアがしっかりミートしていてスローインに出来ていれば、失点はなかったかもしれない。そしてコーナーになったとしてもキーパーとニアの人の連携がうまくいってれば、キャッチしてカウンターができていたかもしれないなどワンシーンごとに見てみるとミスとミスが重なり失点してしまいました。このようにどれか一つのミスでも減らしていれば自分たちが得点できていた可能性だってあります。ミス一つ一つが展開を変えてしまうということを感じました。次に攻撃面では僕がパスを受けた時、何回も相手に潰されてボールをロストしてしまいました。いつもだったらそこまで潰されることは無かったので九州大会の相手の球際の強さに驚きました。しかし、パスの受け方を試合中に修正できていれば、もっとチャンスを作れていたなと思いました。さらに僕は己鉄からナイスクロスが出てきたにもかかわらず、外してしまいチャンスを逃してしまいました。そして、チャンスは作れるけど、点が取れない状況が続き、改めて決定力の低さ、ラストパスの質の悪さ一点の重さを思い知らされました。最後に寄付してくださった方や応援してくださった方、家族、コーチングスタッフの方々にとっても悔しい結果に終わり、恩返しできなかったけれど、来年も絶対に九州大会に出場できるように頑張ります。そのために普段の練習から強度を上げて後悔のない一年間にしていきます。そしてチームの雰囲気明るくできるような人になりたいです。

久留米 AZALEA U-13

24 FP 廣田 怜恩
Reon Hirota





久留米 AZALEA U-13

28

FP

貞包 翔太郎

Shotaro Sadakane

九州大会に出場して、リーグ戦などとは違う大きな舞台の雰囲気強く感じました。

会場の緊張感や相手チームのレベルの高さを感じる事が出来ました。強い相手と戦うことでチームの課題や自分の課題に気づくことができ、とても良い経験になりました。

球際の強さや切り替えの速さの自分達より上のレベルで戦うために必要なことを学ぶことができたと思います。また強い相手と戦えたことで自分たちがどれだけ通用するのかを知ることができ、もっとレベルを高くしたいと思いました。

今回の九州大会は地区大会から県大会で最後まであきらめずプレーすることをチーム全体で大切にしてきました。その積み重ねが九州大会に繋がったと思います。

今回の九州大会で得た経験をこれからの練習や試合に活かしていきたいです。そして次に同じような舞台にもしてたら今回以上の結果を残せるように頑張りたいです。

久留米 AZALEA U-13

31 GK 宮本 尚蔵
Shozo Miyamoto



県大会の初戦で強い相手だったので勝てるかとても心配だったけど、チームが最後まで戦って逆転することができ、試合に勝つことができました。その試合の中でも自分にいくつかの課題がありました。

九州大会が決まってから結構、時間が空くので自分の苦手なロングキックやセットプレーやクロスが出るタイミングなどを練習してきました。そして、試合当日、とても緊張しました。結果は負けてしまいました。しかも、0対1で失点の仕方はコーナーキックからでした。そして、試合を通してたった1点の重さを今まで以上に感じました。試合の中で自分はいいと思うプレーもあったし、悪いプレーもたくさんあったので日頃の練習から自分の課題と向き合って練習をしていきます。そして、九州大会で得ることができたプレーも今後から意識していこうと思います。応援してくださった方、遠いところまで来てくれてありがとうございました。支援してくれた人たちや支えてくれている人たちのおかげで沖縄で九州大会というとても貴重な試合に出ることができました。

沖縄に来れなくても YouTube などでも応援してくれた人たちありがとうございました。そしてアザレアを応援してくれている人たち、コーチたち、支えてくれる人が一緒に戦ってくれたおかげで自分もチームも最後まで諦めずにプレーすることができました。そして、これからも応援されるようなチームになっていくのでこれからもよろしくお願いします。今回は本当にありがとうございました。

久留米 AZALEA U-13

32 FP 月俣 大芽
Oga Tsukimata

県大会が終わった時、あまり実感が湧かなかった。そもそも県大会に出るのも初めての経験だった。今までよりさらにこだわって練習した。いろいろ考えた。いろいろな友達や家族おじいちゃんおばあちゃんまで応援の声をかけてくれた。そこで、改めて頑張ろうと思った。お母さんともいろいろ喧嘩になることもあったけど、ずっと応援してくれていた。すごく励みになった。

九州大会の前の日の夜に準備をしている時は明日には沖縄という感じはあまりしなかった。あまり緊張もしていなかった。朝、わざわざおばあちゃんがうちまで来て頑張れと声をかけに来てくれ、とても嬉しかったし、絶対、勝ちたいと思った。また、大会に出場できるよう頑張って、家族に応援され、お父さんに見送ってもらいたいです。

九州大会は僕が経験もしたことがないようなことをいっぱい経験させてくれた。もっと、ああとけばよかったと思うことがいっぱいあったが、自分の全力を出して頑張れたと思う。でも、やっぱり勝ちたかった。試合が終わってすぐは意外と冷静だったけど、少し時間が経ってから涙がこみ上げてきてしまった。何より親に勝つところを見せてあげたかった。この悔しさを絶対に忘れない。また来年も絶対九州大会に出る。そして、1回戦を突破する。今年はずっともっと頑張る。この悔しかった思いをまた同じ大会で返す。誰一人かけずにまた同じ日を迎えたい。

自分のやりたいことができ、大会に出られるのは保護者や協力してくださっている人たちのおかげだということを忘れず、練習の一日一日を大切にしていきたい。応援してくださった人ありがとうございました。これからも頑張って、また今年も出れるように頑張るので応援をお願いします。改めてありがとうございました。



僕は九州大会に向けてたくさん努力してきました。かなり前ですが地区予選のとき筑後に負けたり、ヴァレロッソと引き分けだったりして、「もう無理、辞めたい」と悔しさのあまりにサッカーを辞めたくなる時がありました。けど、チームのみんなは僕ひとりにせず寄り添ってくれたし、誰であろうと落ち込んでいたら励ましていてすごくいい仲間だと思いました。

県大会になって数日間の練習はすごく緩んでいて、このままじゃ、コテンパンにやられると思っていました。声かけがだんだんやじになったり、ミスをネガティブに捉えたりして雰囲気は最悪でした。だけど、九州大会という大舞台が近づいてくるにつれて一人一人の意識、プレーの質、仲間への声の良い方向へと変わっていきました。オンとオフとのメリハリがとてもあって団結力もついてきました。

大会前日、僕はすごく緊張とワクワクが混じり合っていました。アリーバの動画を何度も見て大嘉と一緒に研究したりして、コンディションを整えました。

そして、大会当日がやってきました。素晴らしい会場やピッチコンディションで今までにないくらい胸がドキドキしました。少しみんな緊張していて最初はあまり声が出ませんでした。つむぎや迫田と一緒に声を掛けたりして、チームの雰囲気も良く、モチベーションをどんどん上げていきました。

アップが終わって最後のミーティングをしました。全員で最終確認をし、円陣を組んで試合が始まりました。選手同士がぶつかり合い、両チーム譲らないでどっちが勝ってもおかしくない試合でした。けれど、相手の方が勝ちたい気持ちが上でした。僕は決めきれませんでした。全力でやって、とっても楽しかった。だからこそ、本当に勝ちたかったです。悔しくて悔しくてたまりませんでした。泣きすぎてお昼の弁当の味がわかりませんでした。

だけど、応援してくれた方々やコーチたちに応える約120%力は全力で出すことができたと思います。本当に寄付金ありがとうございました。次は絶対にまた九州大会に行ってアリーバに勝って優勝できるように150%出して頑張ります。そして仲間と共に日々の練習を頑張っていきます。



久留米 AZALEA U-13

33 FP 内藤 権生
Naito Kai

34 FP 宗貞 蒼馬
Soma Munesada



今日は予選から九州大会までどの試合もどうでもいいと思えるような試合はなく、緊張感がありました。その試合を今まで一生懸命に一つ一つ頑張ってきて九州大会に全力で挑もうという気持ちでいっぱいでした。

しかし、1週間前に怪我が2人、その中に僕も入っていました。自分は九州大会に出られないのが悔しくて悔しくて仕方ありませんでした。みんなが練習中、笑いながら、けれど激しく声を出してセカンドファースト関係なく九州大会に向け高まっているのがわかりました。そんなチームメイトの姿を見て落ち込んでいる暇はないと思いました。

もう一人の怪我をした人と自分たちも一緒に頑張ってきました。そして全力を尽くして挑んだ初の九州大会、惜しくも0-1の1点差で負け、出場ができない悔しさや惜しかったこともありとても悲しかったです。九州大会という素晴らしい舞台、沖縄の良い人工芝の素晴らしい環境、寄付金や親などの色々な人が支えてくれたからこそ、これた大会、そんないろんなものがつまった九州大会でした。

試合が終わって、あの時こんなことを知ればしていれば何かが変わったのだろうかもっとこうしたら良かったのではないかというマイナスな感情と疑問と共に良い試合だった。また、この舞台でやりたいなどのプラスなものも自分の中にありました。クラブ初というU-13大会での九州大会出場という大きな成果を達成しました。勢いでこれたところもあるかもだけど、この結果は必ず自分の糧になってくれると思っています。だから、これからも九州大会で一勝するというハードルが高い目標に一步ずつ前を向いて歩いていきます。

九州大会ありがとうございました。これからもよろしくお願いします。

35 FP 吉岡 力跳
Rikito Yoshioka

自分は九州大会に向けて日々の練習から基礎技術や体力面の向上に力を入れて取り組みました。また、チームとしても声掛けや連携を大切にしてきました。

しかし、大会直前に怪我をしてしまい、コンディションが万全ではない状態で試合に挑むことになりました。怪我をしている期間も出来る範囲でトレーニングを行ない、ストレッチや体幹トレーニングなどを組み、少しでも良い状態で試合に出られるよう努力しました。自分はこの大会を通してサッカーは難しいと思いました。前半、守り切っていたら・・・自分たちが得点できていたら・・・と思い、とても悔しかったです。

相手に先制され自分達に焦りが出たと思うようなプレーができなくなってきて苦しかったです。だけど、チームを応援してくれる人いる方々がいてくれたので最後まで諦めることなくプレーすることができました。

結果としては負けてしまったけれど、とても大きな経験をすることができました。自分は負ける悔しさを学ぶことができました。

この悔しさを糧にして2年で九州大会のリベンジをするために練習を頑張っていきます。



久留米 AZALEA U-13

37 FP 西岡 那奈子
Nanako Nishioka

九州大会を振り返って私はまず九州大会に行けた事が凄いと思っているし、この1年でそこまでよく成長したなと思いました。でも、自分は試合にあまり出ることができなかったです。でも、1.2試合に出ることができました。セカンドと力があまり変わらない自分が九州大会という大きな大会に行っているのかと悩んだし、私にはもっと頑張らないといけないことがあると思っているのに試合に出ていいのかなと思いました。九州大会というのがどれほど特別で、凄いのかということに改めて実感することができ、それと共にやっぱりこんな自分が出てもいいのかなと思いました。でも九州大会の試合中はみんなで声を出したり、みんなが良いプレーをした時は「ナイス」や「いいね」など言ったり、ハーフタイムではどこが良くてどこが悪かったかなど言いました。

1試合目の本戦、特にそうだったけど惜しいところや失敗などが重なり、負けてしまっみんなが負けて悔しくて泣いている時に自分が試合に出ることができず、誰の役にも立っていないこれまでの自分は「何で自主練をしなかった」と沖縄にいる時ずっと後悔していました。私はこのことを通じて後悔するなら最初からやっておくと良いと改めて知ることができたので、日々の自主練の時間やそれ以外の生活面、学習面のことでも後悔しないように後回しにせず、先に終わらせるようにしたいし、しっかりファーストに負けられないように上手になりたいです。

この九州大会という大舞台で一戦一戦が緊張した中での試合で自分が限られた時間の中でたくさんの経験ができたので本当に良かった。

この一戦一戦の中で自分の最大限の力を出したことはとても良かったと思ったけれど、その中で自分の課題がたくさん見つかった。このとても大切な課題を今後の練習などからチャレンジして、この課題をしっかりと克服できるようにこれからしっかりと頑張っていきたい。九州大会でしかやれないとても強い相手と試合をできて本当にいい経験になった。九州大会に出ているようなチームを基準にしてこれからも頑張っていきたいと思います。

九州大会 1 回戦で負けたけれど、アリーバととてもいい試合ができた。だからこそ負けて悔しい気持ちもあった。大切な試合ほど何回もチャンスがないから、そのチャンスをものにしてこれからの大切な試合などを勝って上に上がっていきたくて思いました。自分たちのことを知らない人も自分たちのために応援や支援をしてくださって本当に感動の気持ちでいっぱいです。この支援や応援があることは当たり前にあることではないからこうやって応援してもらって、ふさわしいような選手になれるように頑張ります。この九州大会での悔しさをバネにして、もっと強くなって、うまくなって毎日の練習から変えていってまたこの九州大会という大舞台に戻ってきたいと思います。応援してくれた人や支援してくれた人たちに感謝しかありません。本当にありがとうございました。

久留米 AZALEA U-13

38 FP 原田 琉ノ介

Ryunosuke Harada

久留米 AZALEA U-13

40 FP 田島 優
Yutaka Tajima

僕は九州大会までにいろんな経験をしてきました。地区大会では最初、あまり試合に出ることはできなかったけれど、合宿で成長し、地区大会では3点取ることができて試合に出る回数、時間が増えてきてすごうれしかった。

「これからも県大会でも活躍するぞ」って心の中で思っていました。

県大会ではチーム内で1勝という目標を立てていたけど準優勝というすごい結果を出してびっくりしました。そして、福岡県2位で行った九州大会では僕は目標を立てました。

それは悔いの残らないように楽しく全力でサッカーをすることです。

1回戦で負けてしまったけど、目標は達成できたとおもいました。まだまだ足りないことがたくさんあるので2年生でも常にスタメンを取って前までは追う側だったけど、今度は追われる側になろうと思いました。

この貴重な九州大会に出て良かったです。

応援、寄付してくださった方本当にありがとうございました。





久留米 AZALEA U-13

41 FP 谷川 趣衣

Shui Tanigawa

県大会が終わって九州大会まで三か月もあったのに一瞬で過ぎていき、少しずつ焦りや緊張が出始めた中、2週間前ぐらいから改めて九州大会に出るという自覚を持ち、ひとりひとりが練習から意識を高め、取り組むことができました。けが人が少し増え、難しい状況だったけど、チームの雰囲気は変わることなく、練習やリーグ戦でもいいサッカーをすることができました。

試合当日キックオフが近づくにつれ緊張も増える中で一番感じられたのは九州大会という大舞台でサッカーが出来るという楽しさとワクワク感でした。キックオフの笛が鳴り、最初はアリーバがボールを持つ時間が多く、ずっと走らされてきつかったけどキャプテンを中心にみんなで声をかけながら何個かチャンスを作ることができ、みんな少しずつ落ち着いてプレーできました。九州大会では失点したくないという気持ちからボールを蹴りあたりしたので、そこはちゃんとパスをつなげるようにしたいです。前半の最後の最後あたりで自分たちが苦手なコーナーを与えてしまい、失点したのがとても悔しかったです。それでも諦めず最後までやり続けることはできたけど後半で得点を決められず0-1という悔しい形で負けてしまいました。でも、自分たちの力は出したと思います。この負けを次に活かして2年の大会でも九州を目指して頑張り、次こそは勝てるようにしていきたいです。そして応援してくれた人、来年こそは良い結果を見せれるようにします。



久留米 AZALEA U-13

43 FP 田中 大獅
Taishi Tanaka

地区大会の時に僕は怪我をしていて、このままじゃ地区大会は出られない予定だったけど何とか頑張って復帰することができて良かったです。復帰して初めての試合が地区大会の決勝でした。最初はスタメンでびっくりしたけど、やってやろうとおもっていましたが、試合ではあまりうまく行かず終わりました。その試合の後、悔しくて毎日、朝5時に走ろうと決めました。そのおかげで少し体力が戻った気がしました。県大会のとき一試合目の東福岡戦に出られなくて、悔しかったです。でも、この強度で次の試合で自分は出られるのかと不安に思っていました。次のカメラリア戦で約5分間ぐらい試合に出て、強度は少し落ちたけど、自分の中でよいプレーができていたので、少し自信ができました。次のグローバル戦でも5分くらい出て、良いプレーが何回かできていたので良かったです。しかし、決勝戦のギラヴァンツ戦では15分出たけど、あまり良いプレーができなくて悔しかったです。友達に誘われたのもあって駅伝に入って、その駅伝の中で一番遅くて自分がどれだけ体力がないのかを実感しました。そして、だんだん走っていくとともにタイムも上がって体力がついているように感じました。そして、九州大会が始まって自分は3分位しか出られなかったけど、みんなの動きが早くて、その3分の中でも色々感じるものがありました。そして練習試合ではコーチから首を振っていないや周りがみえていないとアドバイスをもらって家に帰ってビデオを見返して周りの状況を把握してなかったのが、次からの試合ではアドバイスをしてくれたことを意識して評価してもらえよう選手になっていきたいです。

まずは応援ありがとうございました。県大会を見事勝ち抜いて九州大会に行くことができました。九州大会が確定して三戦目、勢いで勝ち、別の日の県大会決勝でボコボコにされ、勢いだけじゃ無理ということを知られました。決勝戦前の練習で調子になり、注意をされ同じことを言われました。

迎えた決勝では何もかもが圧倒され、歯が立ちませんでした。このことから九州大会前の練習でいい緊張を持ちながら、激しく良い練習をできたとおもいます。

迎えた九州大会の初戦、自分は初めてのポジションで2週間前から LSB あるよと言われ、1週間前には LSB 行くよ！と言われ、とても緊張しました。最初の5分を大事にし、前半で失点をなくすとチームで話していました。笛が鳴り、より心拍数が上がりました。ファーストプレーでガッツリいけたので良かったです。最初の5分間おされていましたが、大事にできたことでチームを責めることも多くなりました。

前半約20分ごろ相手の初コーナーキック、みんなも相手チームの特徴を知っていて、より意識を高めました。わかっているのにコーナーで決められました。その後、得点が惜しい結果になりましたが焦らず得点を狙いました。前半が終了し、後半が始まり途中からフォワードになり、交代選手も加わり流れを変えようと思いました。決められるところを決めず、前半の失点が響きました。自分たちはとても悔しかったけど、それ以上にとても楽しかったです。これまで応援してくれたことを大事にし、応援される集団に日々成長していきます。

久留米 AZALEA U-13

45 FP 木稲 喜一

Konomi Kiichi

47 FP 岩下 紡樹
Tsumugi Iwashita



まず今回の九州大会はとても悔しい結果になってしまいました。九州大会に向けて全員でしっかり練習してきたつもりだったし、試合の内容も悪くなかったからこそ、より悔しいと感じました。応援してもらえそうな試合にするためにはひとりひとりの頑張りや気迫なども大切だと思ったけれど、九州大会という大きな大会に行けたからこそ個人的には結果を大切にしたいかったし、多分ほかの全員も同じ思いだったと思う。

ぼくは小学校もアザレアでほとんどセカンドメンバーにいてサッカーをしていた。県大会に出てるファーストメンバー、ベンチでもなく観客席の方でずっと見ていたのが悔しかった。僕がここまで来れたのはサッカーをさせてくれ応援してくれる家族やサッカーを教えてくれるコーチのおかげだと思った。そして今回のお金を寄付し、応援してくれている人たちのおかげだとわかった。そして何より一緒にサッカーをしてくれる仲間たちのおかげだということがわかった。正直、僕はほかのチームメイトみたいに上手くはないけど、声を出してチームを盛り上げられるようにサッカーをしてきました。これからはそれだけじゃなくて技術をしっかりと上げて強くなって大事なところで勝てるようにしていきます。

僕たちのことを応援してくれた方々本当にありがとうございましたこれからも全員で頑張ります。



久留米 AZALEA U-13

48 FP 和智 晴哉
Wachi Haruya

僕が九州大会に向けて頑張ったことや大会を通じ感じたこと、思ったことは三つあります。

一つ目は学校を休まないことを頑張ったことです。この1年、学校を今回の九州大会を含めて2回しか学校を休まなかった事です。そのことにつながる、毎日の体調管理を頑張りました。九州大会前は特にとても楽しみだったから注意しました。そして九州大会当日や前日もバスや飛行機の中ですかさずマスクをして良いコンディションで試合に出るように意識していました。2つ目は自分のことは自分でやれないことが多いですが、やれることはだいたい面倒くさがらずに自分で頑張るようにしたことです。日常から自分のことをやらなかったら、そういうプレーになってしまい、いいプレーができなくなるからそういうところを意識しました。

3つ目は今回アザレアのコーチ方が言っていたようにアザレアに頑張ってほしいと周りの方々が汗水かけて働いたお金をこの僕たちにいっぱい払ってもらっていたことを忘れずにそういう人たちにそういう人たちが寄付してよかったといい気持ちになってもらえるよう全力で頑張ろうと大会に挑みました。ですが、僕は1分1秒と出られませんでした。でも僕は僕なりにベンチで何をすべきかを考え、声を出したらやれることをしている人たちにいいチームだったなどと言ってもらえるように頑張りました。次はベンチで頑張る側じゃなくてピッチで応援してもらえる側になれるようサッカーをやっていきたいです。

久留米 AZALEA U-13

49 FP 森 己鉄

Kotetsu Mori

まず、僕が九州大会を通して頑張ったことや感じたことは、県大会とは違う激しさやスピード感、技術の差が大きかったことです。大舞台での緊張感や慣れてない環境でのコンディションを作ることの難しさ、100%の力を出すために日頃からコンディションを整えておくことの大事さを学びました。

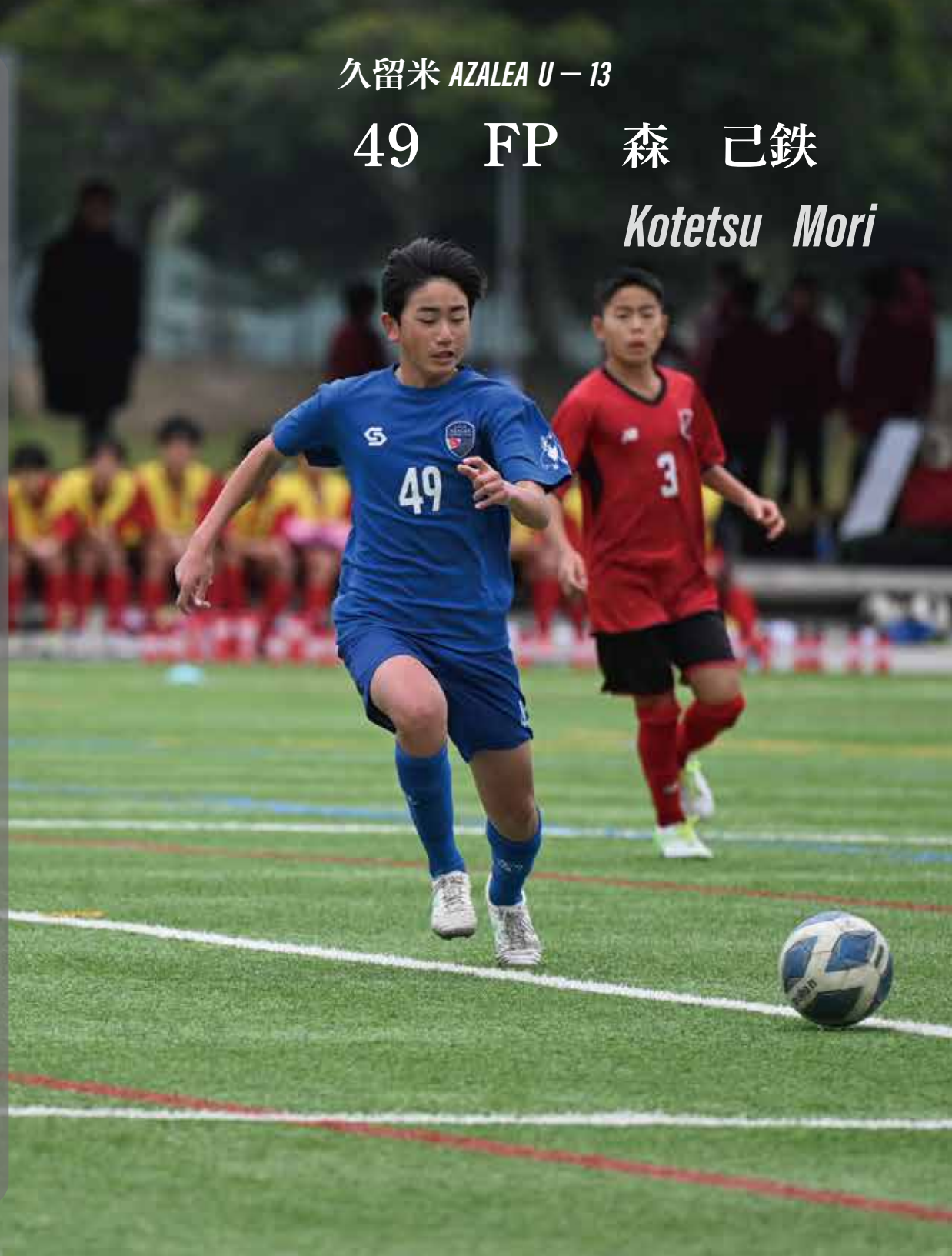
アリーバとの差を感じた部分は一つ一つの技術や最後に決めることです。チャンスは作ることができたけど、そこで決めるところが課題だと思いました。

僕はこれから蹴る、止めるパスの技術をもっと高めていきたいです。僕たちはただ蹴るだけで全部相手に取られていたので、そこをできるだけパスをつないで攻めていきたいです。いつも応援してくださる皆さんには本当に感謝しています。皆さんのおかげで全力で最後まで試合をすることができました。

結果、負けてしまったけど悔いが残らない試合ができました。

九州大会という舞台で学んだこと、反省点を活かして、これからの活動や試合に取り組んでいきたいです。

寄付金や応援本当にありがとうございました。



85 FP 大塚 大嘉
Taiga Otsuka



僕は今大会を通じ感じたのは感謝と楽しさです。

まず、僕は今大会で試合に多く出場できたことです。僕は小五の時の新人戦、六年の時の全日フジパンなど僕はほぼ試合に出場することができませんでした。その時はサッカーが全く楽しくなかったし、辞めたかった。だから今大会、試合に出場できてうれしかったし、楽しかった。県大会で勝ち進んだ時、泣きそうなくらい嬉しかった。僕は本当に嬉しかったし、楽しかった。でも、そこで忘れてはいけないのは、その舞台に立つことの出来なかったセカンドメンバーやファーストメンバーであり出場することができなかった選手です。僕は全く上手くないし、これといってずば抜けているところもないので僕は油断したらすぐベンチだし、なんならセカンド。だからこそ選手たちの気持ちをすごくよくわかるし僕がわかってあげなきゃいけない。たぶん僕たちが試合にかかったとき、たぶん本気で喜べなかった選手もいっぱいいたと思う。僕も正直、試合に出られなかった時は負けて欲しかったし、本当に悔しかった。それでも、その場の雰囲気に合わせて喜んでくれたことはとても幸せだし、ありがとうと思う。俺だけじゃ掴めなかったし、アザレアのファーストメンバーだけでも勝てなかった。選手全員大事だし、コーチもひとりひとりとても大事。誰一人として欠けては勝てなかったし、絶対欠けてはいけないと思う。僕には一緒に大会に出場したい仲間がいる。また、九州大会に出場できるよう共に頑張りたい。

そして、僕が一番感謝しているのは原コーチです。

普段は僕のできないところをずっと心が折れるくらい言ってくれます。僕はたまに嫌だなとか思うけど僕にサッカーの楽しさを教えてくれるし、僕のできないところをちゃんと言ってくれる。そのおかげで僕は確実に上手くなっているし、サッカーが楽しく感じる。でも、僕はまだまだ課題だらけだし、繋ぐサッカーとか本当に難しくできないけど、それでも教えてくれる原コーチに感謝してる。試合で使ってくれて感謝しかない。こんな僕を使ってくれて本当にありがとうございました。少しサッカーが嫌いになりかけていた時にサッカーの楽しさを教えてくれた原コーチ、本当に大好きです。今回の九州大会は負けてしまったけど僕たちは絶対にあの場所に戻ってくるし、絶対に福岡県の頂点を取る。その気持ちを絶対に絶やさずやっていきたい。絶対に俺は腐らずにやり続けるし、何を言われても俺には負けないメンタルとポテンシャルがあります。なので、また2年から振り出しだけど、スタメンをとって、また、あの場所で次は勝ちたいと思います。応援してくれた人たちには本当に感謝しかありません。ありがとうございました。

久留米 AZALEA U-13

98 GK 大石 実輝

Oishi Misaki

僕が九州大会へ向けて頑張ったことはまず試合に出たいから、練習一つ一つにしっかりと取り組んで練習試合などでも声を出したりしてアピールしようと頑張りました。僕は試合にあまり出ることができなくてベンチから試合を見るが多かったけど、みんなで九州大会に向けてがんばって練習をして九州大会1回戦で負けてしまった。

だけど、ここまで勝ち上がって楽しい試合がたくさんできてよかったです。九州大会でも負けてしまったけど、とてもいい試合ができたし、最後まであきらめずに挑んだからこそ悔しかったし、でも、楽しかったです。

大会を通じ感じたことはチームメイト、応援してくれた皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。

僕たちは応援してくれた人たちのおかげで九州大会まで行けたので本当にありがとうございました。

とても良い経験ができました本当に良かったです。



僕が九州大会に向けて頑張ったことは笑顔で明るくプレーして「言うところは言う」「褒めるところは褒める」「なるべくポジティブな言葉を仲間に言う」これを意識しました。けど、2週間前までは自分のプレーにイライラしてチームの雰囲気も悪くなって、九州大会まであとちょっとなのにと焦っていました。気がついたその日から「笑顔でプレーする」「ポジティブな言葉をかける」これを意識すると決めました。大会前最後の試合ではそれを意識してプレーしました。自分がミスしても切り替えてチームのためにプレーする、チームを盛り上げる、その試合ではこれができたと思います。その時、自分が笑顔でプレーしていたら楽しかったし、チームの雰囲気もよくなったし、みんな良かったと感じました。大会前日、初めての沖縄でわくわくしていました。けど、当日になって今までで一番緊張しました。でも、アップからみんなで盛り上げて緊張がほぐれました。今までで一番楽しかった試合でした。負けてしまったけど、みんな全力を出していたと思います。身近にいる筑後FCが決勝まで上がって悔しかったし、まだ勝ったことのない筑後FCを倒したいとも思いました。いろいろな学年の保護者とかアザレアとは関係ない人に寄付をしてもらったり、いろんな人に応援をもらえて嬉しかったです。応援される集団になれるようにみんなで頑張ります。僕はコーチ、チームメイト、アザレアファミリー、親、このチームが大好きです。

久留米 AZALEA U-13

93 FP 迫田 稀一
Kiichi Sakoda





応援いただきありがとうございました。

NPO法人 久留米アザレアスポーツクラブ 選手・保護者・スタッフ一同

スポーツは人生を豊かにする

SPORTS ENRICH LIFE



Kurume Azalea OFFICIAL SITE



～スポーツをこの街の文化に～

